

(資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会)

原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和七年十月二十一日に設置され、三年間の調査テーマを「脱炭素時代における資源エネルギー戦略と持続可能社会の実現」とした。

一年目は「国際情勢の変化とエネルギー安全保障」を調査項目として取り上げ、「エネルギー安全保障をめぐる環境変化と日本の対応」、「再生可能エネルギーをめぐる現状と課題」及び「エネルギー安全保障の確立と持続可能社会の実現」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。続いて、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、これらの調査を調査報告書(中間報告)として取りまとめ、令和八年七月一日、議長に提出した。

報告書においては、調査の概要のほか、主要論点として「中東情勢」、「エネルギー安全保障」、「資源エネルギー政策」、「再生可能エネルギー」、「ペロブスカイト太陽電池」、「原子力政策」、「海洋鉱物資源等」、「循環経済(サーキュラーエコノミー)」及び「脱炭素」の各項目について整理を行っている。